

第2回「3.11から未来をひらく会」主催

—3.11から7年目の春に—

2018年3月10日◎板橋区立文化会館小ホール

映画「日本と原発・4年後」

講演「原発はやっぱり割に合わない

—国民から見た本当のコスト」

龍谷大学教授大島堅一氏

～参加者 276人～



わかりやすく話す 大島堅一氏

◎これは皆に伝え、広めやすいことです。◎事故が起こってしまい、子孫に禍根を残してしまった。次の世代、次々の世代、どう処理をつないでいくのか？ ◎3.11福島のことを風化させず、原発をなくす運動を続けることが大切。◎安い・安全・幸せ・社会システムで、(自然エネ)を広めたい。(参加者感想より)

3.11 から未来をひらく会 は、区内環境団体を中心に、昨年発足し、今年は第2回目の会です。主催団体は10団体に増加、個人参加の方も、学生にも広がり、昨年より広い板橋区立文化会館小ホールでの開催となりました。映画は、弁護士河合弘之氏の2作目で原発の歴史、仕組、原発の社会構造、賛否両者の意見、事故後の環境破壊等、詳しく学ぶことができました。講演はタイトル通りの論文で大佛次郎賞を受賞した大島堅一氏です。(この会は、今年度、板橋区ボランティア・NPO活動公募事業の助成を受けています。)

…参加された方々の感想…

◎映画も講演もとても分かりやすくよかった。(多数の方々) ◎たくさんの方に見ていただきたい。◎深い学びの機会だった。◎内容はすばらしかった。◎たくさんの方に見ていただきたい。データがびっくり。原発のお金がかかること。◎被災者の言葉がとても心に響きました。◎脱原発に向かって、本気で取り組んでいかなければ！人類を破滅させる原発。◎事故や様々な問題が未解決のままの稼働はしてはならない。◎原発は今すぐ中止しましょう。◎これからもちろんと目を見開いていかなければならない。◎講演のポイント—原発はなくても大丈夫。原発こそ不経済。◎まずは自分のできることからアクションを起こすことの大切さを学んだ。◎原発は安全ではない。経済的でない。いけない。不幸になる。

SOE NEWS

No.141

2018.4



センスオブアース 市民による自然共生 パンゲア



会は地元の大学生の司会で進行

主催団体

NPO法人いた・エコネット
板橋母親大会連絡会
いたばし水と緑の会
いたばし野鳥クラブ
グループ ケヤキ
NPO法人センスオブアース
東京土建板橋支部
新日本婦人会板橋支部
環境を考えた行動するグループ
エコ紙漉きはがき絵の会

来年以降の企画の希望内容アンケートより(人)

- 原子力発電を減らす取り組み……15
- 自然再生エネルギーの取り組み……11
- 福島との交流—復興支援・農産物販売等……10
- エネルギー使用と温暖化……8

愉快なカバのバオ?

カタツムリ!?

ニホンカモシカだ!



「すべての命をつなぐ環境学習」 NPO法人ワーカーズコープ 第2回 職員研修会

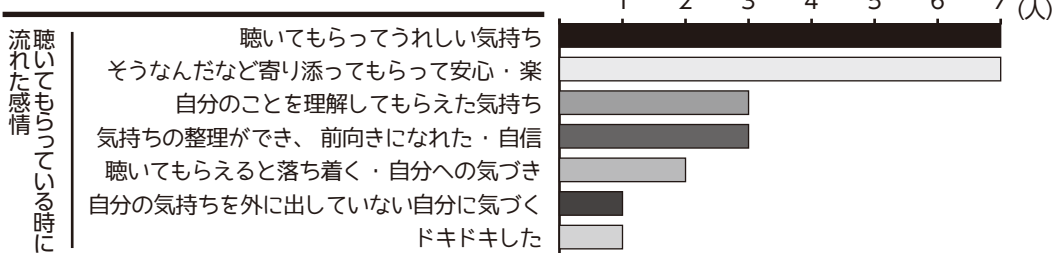
3月13日(火) 於 板七小 アイキッズ 講師 NPO法人センスオブアース

ワーカーズコープは協同労働により「命・自然・働く・暮らす」をベースに、共に生き、共に育ちあう社会を目指して、労働の場を作り出す NPO です。都区内でも、多数の学童施設や、保育園、児童館などの委託を受け、仕事をしています。この中で、若者たちへの研修を依頼されたセンスオブアースは、2月に児童理解を中心とした「受容すること・共感すること」を、3月は「すべての命をつなぐ環境学習」をテーマに研修を行いました。3月の研修の柱は、板橋区立板橋第七小学校の校庭をお借りして、身近な自然の木の観察と樹の顔づくりを行い、活動の中で自分がどんな気持ちになっているか、全身の感性と感情の流れを見つめ発表しました。愉快な表情の木の顔!いかが?

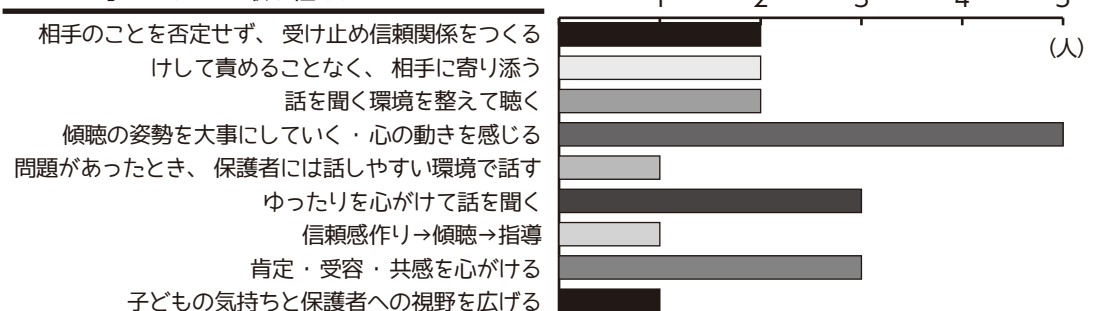


第1回研修会

児童理解「エクササイズ-傾聴体験のあとの感情」



これから子どもたちに取り組みたいこと



板橋区資源環境部
環境戦略担当課環境協働グループ 主催

区民対象 春休み豆腐づくり体験会

3月27日◎エコポリスセンター

進級してうれしい春休み。小学校3年生以上は一人でも参加できる「春休み豆腐づくり体験会」を開催。希望者が多く抽選となりましたが、落ちた人、またやりますから待っててくださいね。

板橋区資源環境部の環境協働グループ（現・



ミキサーで生大豆をすりつぶし
温めた生呉を絞ると豆乳が出来た

環境政策課環境教育係)は、エコポリスセンターも管轄し、区内の環境団体とも力を合わせ、区民となかよしです。

開会—板橋区のあいさつ



集まった人を見て、「こんなに子どもたちが来るなんて」とびっ



大豆をミキサーでドロドロに

くりの参加された年輩たち。老若男女がうちそろい、とっても楽しそうに活動し、とうふを作っておいしくいただきました。

…みんなの感想

…初めて知ったこと・びっくりしたこと ◎大豆の変身・枝豆が大豆になること・大豆が高級なこと・豆乳ができること・にがりを入れること、にがりの入れ方に気を付けること・大豆から枝豆ができること・おからができること・大豆の花がかわいい・大豆の自給率が低いのに驚いた(7%)

…作る作業でおもしろかったことは? ◎しぼって豆乳を作る作業!・湯葉ができること・初めてあった人と協力してできた!・温度計で温度管理した



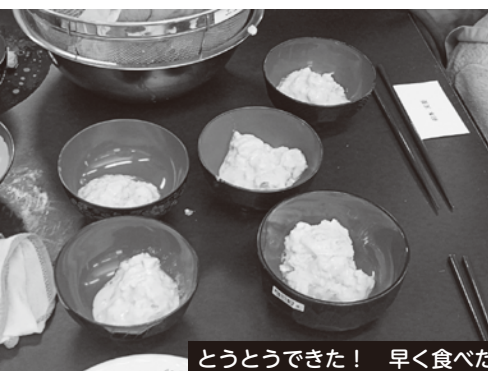
温度を測りながらゆばかな?

こと・ストップウォッチがおもしろかった。全ておもしろい・大豆が変化していく様子・ビニール手袋で人形を作ったこと

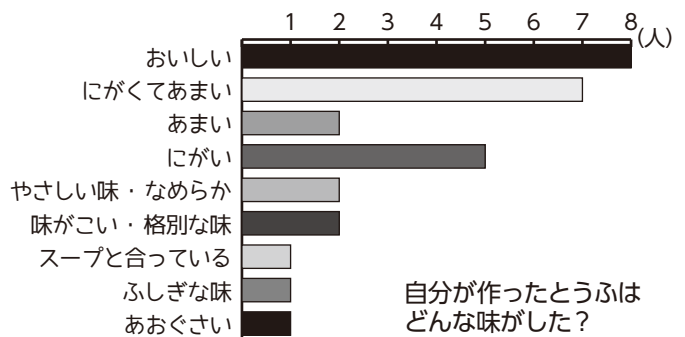
…次にやりたいことは? ◎みそづくり・うどんづくり・そばづくり・ケーキ・お菓子づくり・茶道・生花・甘酒・クイズ大会・しょうゆ・料理・一日キャンプ・スポーツ



ざるどうふの出来上がり



とうとうできた! 早く食べたい!

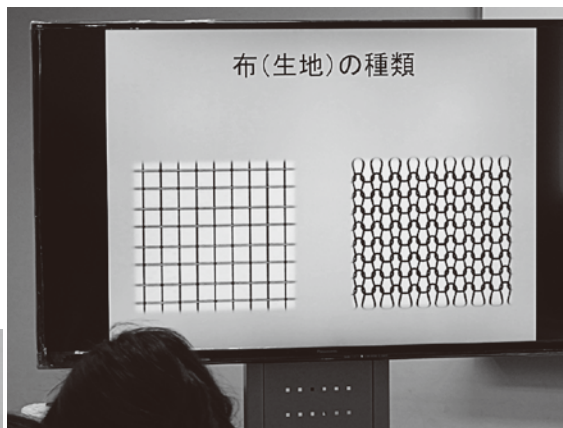


センスオブアースのプログラム作り
～循環型社会を目指す体験～

種から布づくりへ

糸づくり布づくり体験会

3月25日(日)◎エコポリスセンター



「面になっていくのを見て
とても感動しました!」



センスオブアースでは、春から木綿の種を植え、秋に収穫し、その種からわたを分離して、糸づくりを学校でやってきました。今回は、それを布にしようと、段ボールの手作り織り機で、織ってみました。参加した東京家政大学の学生たちの結果は?

長田広恵さん「糸は初めてスピンドルという道具でつむいだので、とても良い経験ができた。小学生の時に機織りをしたことがあったので、結構簡単にやることができた。交互に割りばしを入れてやると、とても楽に通せました。」

河野光里さん「手でつむぐのはほとんどできませんでしたが、スピンドルを使ったらできたのでよかったです。織機の仕組みもやりながらわかったので、楽しかったし勉強になった。」

松丸莉奈さん「糸紡ぎはとても難しかった。糸がどのようにできるのかを知る部分ではよい体験だった。機織りをミニで体験出来て、こちらはうまくできたので、上機嫌でした。これは集中すれば小学生でもできると思った。」

小西夏穂さん「糸紡ぎはとても難しかった。小学生にはかなり、むずかしいかな。布織りはとてもうまくいきました。楽しかったです。面になっていくのを見てとても感動しました。」



ワタから作った糸まき(市販)



手作りスピンドル(机上)を使って、左から長田さん・河野さん



長谷川美和さん「パワーポイントが見やすくてわかりやすかったです。糸はすごく難しくて全然つむぐことができませんでした。布をつくることはコツを覚えると、集中でき楽しかったです。この布から、ひとつのものを完成できたら、達成感があるなと思いました。」

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052